

目指せ！脱炭素社会への道☆

シリーズ1

先月号の特集ではゼロカーボンについて、詳しくお伝えしました。今月号からはシリーズ「目指せ脱炭素社会への道」で皆様に脱炭素化に向けた取り組みをお送りいたします。

車社会に求められる脱炭素化

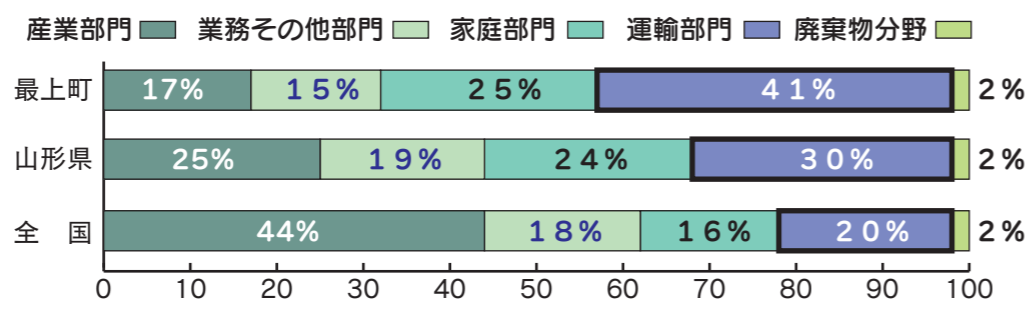
第1回目となる今回は、最上町のCO₂排出量や特徴について触れたいと思います。下記へ記載されている表は、統計および様々な指標を元に環境省が作成・公表している「自治体排出量カルテ」から一部抜粋しています。特筆すべき点としては、当町の部門・分野別排出量比較の中で特に運輸部門に占める割合が高いことが特徴になります。

一人あたりの所有台数も多く、私用車・社用車ともに使用頻度が高い車社会であることが伺えます。脱炭素化に向けて明日からでも簡単に始められることは、近い距離の移動は積極的に徒歩や自転車を活用していくことです。この取り組みだけで省エネになり、更に健康にも繋がります。

また、それ以外にも電気自動車や低燃費車を検討することも高騰する燃料費削減と合わせて有効的な手段となります。導入の際は国の補助金等の支援策もあるため、用途や維持コストを含め比較検討をお勧めします。



部門・分野別 CO₂排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



○お問い合わせ 商工観光課エネルギー産業推進室 43-2262

張隊員の活動がわかるSNS



地域おこし協力隊通信



こんにちは！
今月号は張申豪がお伝えします！

台湾の小学生が教育旅行

半年前から企画していた「2024年光復小学校教育旅行&国際交流in最上町」という日本と台湾の小学生の交流イベントが、6月22日から6月26日にかけて行なわれました。

台湾の光復小学校は2019年に初めて最上町を訪れましたが、協力隊としてお手伝い出来なかった当時のスケジュールでは、最上町の滞在期間はわずか1泊2日のみ。さすがにこれでは町のすみずみまで十分な体験ができなかったのですが、今回は町内で台湾のみなさんに体験してもらいたいことから、4泊5日の長期のスケジュールを企画しました。

さくらんぼ収穫体験・前森高原でのBBQ・大堀小学校見



童との交流・八森スポーツ少年団とのバスケットボールの交流・町のバイオマスエネルギーの見学・そして高齢者福祉センターで老人クラブとわなげ交流体験など、本当にたくさんの方々の体験とたくさんの方々からのご協力をいただきました。初来町された台湾の方々も、いい思い出を作ることができたと思います。

あらためてご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これらの活動の写実は私のSNSに載せてありますので、皆様ぜひご覧ください。

宝くじの助成金で前森集会所の備品を整備しました

前森三区会では、コミュニティ助成事業※により前森集会所への備品の整備を行ないました。

同会は以前から集落活動やサロン活動などで集会所を利用しており、こうした活動に活用するため、ホワイトボード、会議用折りたたみテーブル、ミーティングチェア等を購入しました。また、高齢者の膝の負担軽減のため和室に座椅子を、夏場の熱中

症対策としてエアコンと冷蔵庫を、屋外活動に使用するクイックシェードや活動用具を収納する物置を購入しました。

今回の備品整備により、安全かつ安心なコミュニティ活動を行うことができ、前森地区の活性化につながるものと期待されます。

※コミュニティ助成事業とは宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している事業です。

- ◇ 事業主体 前森三区会
- ◇ 助成額 250万円
- ◇ 事業期間 令和6年4月1日～令和6年6月10日
- ◇ 事業内容 前森集会所活動備品の整備



あたごども園年中児花植え体験学習



富沢地区集落支援員 遊佐 忠孝



5月30日（木）に、堺田多面的機能支払交付金事業「すずの里保全会」鑑賞畑に於きまして、あたごども園年中児の花植え体験学習が、堺田すずの里保全会会員の皆さんの協力により行なわれました。当日は天候にも恵まれ、元気に上手に花を植えることができました。この体験学習は、地域の皆さんと花植えをすることで土と自然に親しみ、共同作業を通して多世代間交流に繋がればと、昨年から実施しています。作業終了後、「封人の家」へ続く遊歩道をみんなで散策するなど、楽しい1日になりました。

堺田地区では、多面的機能支払交付金制度を活用し、堺田駅周辺の農地保全、環境・景観整備を「すずの里保全会」が行なっています。当日も園児たちが作業しやすいように圃場を整えて頂き、保全会会員の皆様には心より感謝申し上げます。

地域の人人口減少が進み、農地保全、環境・景観整備が難しくなる中、地区の共同作業の取り組みと、園児たちの体験学習が地域の活性化の一助になればと思います。

富沢地区担当集落支援員として、地区の皆さんの接着剤の役割で、百歳体操・サロンの活動をはじめ、空き校舎を活用した旧富沢小学校でのレクリエーション体験、旧赤倉小学校での富沢地区サロン会との交流会等をサポートし、活動していきたいと思っております。